

【資料1】

西鉄バス二日市線(宇美～太宰府線)の 減便について

1. 経緯

- 令和6年3月26日付けで西鉄バス二日市(株)から福岡県バス対策協議会へ「乗合バスの減便について」申出書が提出【別添】
- 福岡県バス対策協議会ブロック別地区協議会の開催
 - 日時：令和6年5月8日（水）
 - 場所：筑紫野市役所
 - 内容：令和6年10月1日減便予定 西鉄バス二日市(株)「宇美～太宰府線」
※その他減便、廃止予定路線はあるが割愛
- 協議結果：宇美町、太宰府市の地域公共交通会議に諮り、今後の対応について検討

2. 福岡県バス対策協議会上の手続き

- **地域間幹線系統補助金等**を受けているバス路線のサービス変更を行う場合、内容を本協議会に諮り具体的な対応を検討し、その結果を福岡県バス対策協議会に報告する必要がある。（福岡県バス対策協議会運営要領第6条第1項、第2項及び第8条第2項）

【参考】西鉄バス二日市線（宇美～太宰府線） 路線廃止申出に関する経過について（令和4年）

- 3月24日：路線廃止申出書提出 → 福岡県バス対策協議会ブロック別協議会設置（福岡県、運輸支局、宇美町、太宰府市、西日本鉄道（株））
同 日：第1回同協議会開催
 - 西鉄バスから収支予想等が提示され、赤字分を自治体が負担できない場合は、令和4年10月1日をもって廃止する旨の説明あり。
 - 各市町で今後の対応について検討することを確認
- 4月26日：二日市線利用者アンケートを実施（利用者の居住地、年齢、職業等を調査 → 調査対象：200名）
- 5月12日：第2回同協議会開催
 - 宇美町、太宰府市ともに路線存続を希望することを確認。当該路線の赤字分について、西鉄自体の負担を要望。
- 5月26日：宇美商業高校へ二日市線の利用状況を調査（約20名が利用）
※太宰府市においても同様の調査を実施し、路線の必要性を双方で確認。
- 5月下旬～6月中旬：太宰府市、西鉄と路線存続へ向けた協議
 - 6/2太宰府市と協議のうえ、議員の意見を踏まえて西鉄へ要望を提出
- 6月29日：宇美町、太宰府市で路線存続及び負担方法について協議
 - 運行距離に応じて赤字分を按分し、負担することを確認。各市町の地域公共交通会議において、路線存続について提案することを決定。
- 7月15日：宇美町地域公共交通会議において、二日市線の路線存続について提案し承認。
- 7月29日：第3回同協議会において、路線存続の意向を報告。
 - 路線廃止申出の取り下げ。
- ⇒ 宇美町、太宰府市負担により存続（令和5年度が初年度 対象期間：令和4年10月～令和5年9月）
※令和5年度決算額：2,480千円